

## エピソード



お話しいただいたのは  
近藤 嘉人 院長

絵本には、大きなチカラがあります。

絵本にまつわるエピソードを聞かせていただくと、その方にとって絵本が大きな存在となっていることに共感を覚えて、こちらの心も温まります。私にも、ちょっとしたエピソードがあるのので、紹介します。

## ☆ある日の出来事

「う、さ、ぎ、さ、ん、が、い、い、ま、し、た」おねえちゃんが治療しているそばで、いもうとがいきなり座って絵本を読み上げる大きな声が、診療室に響いています。

いつものまにか、周りの話し声はビタリと止んで、おねえちゃんも、私も、衛生士も、となりで治療している子も、待合室で遊んでいる子も、みんながその声にしっと聞き入ってしまいました。

そのとき、私はあることを思い出していました。

## ☆イヤイヤ対策

以前、子育てで悩んでいるママに、科学的に根拠があるアドバイスを送ろう、という番組が放送されました。

たとえば、赤ちゃんが「夜泣き」したり「人見知り泣き」したりするのは、ほかの動物にくらべてヒトは脳の発達がゆっくりなためで、ママの育て方が悪いわけではありませんよ、といった内容です。なかでも、カンシヤクを

おこしてママのいうことに耳をかさない「イヤイヤ対策」は、とても興味深いものでした。

ヒトの脳の「前頭前野」とよばれる部分が、感情や行動の行き過ぎを抑えています。ほかの動物は生まれてすぐにその抑えが効いているのに、ヒトは体験することで、少しずつ抑えを学習していくそうなのです。では、どうすれば学習できるのか。キーワードは「わかりやすい決まりごとをまもる」ことで、その具体例として絵本を使う方法が紹介されていました。

ふたり一組になって、ひとりは絵本を声に出して読み上げます。もうひとりとは聞き役で、ひともしゃべらずにお話を聞きます。つぎに役割を交代し、読み上げた子は聞き役をつとめます。このようにして、ほんの少しガマンすることを自然に覚え、繰り返すことで「抑えを学習する」というわけです。

絵本を聞くことだけで

も脳の発達にプラスになるのです。

## ☆ありがとう

私たちの医院にはアニメ動画は流れていませんが、待合室にも、診療室にも絵本や図鑑があふれていて、たのしい雰囲気づくりにも、子どもたちの成長にも役立っています。

絵本をぜんぶ読み終えるころに、おねえちゃんの治療も終わりました。「とてもじょうずに読めるね。みんな聞きほれていたよ」と私がいうと、いもうとはニョッと口を横にひろげて、満面の笑顔を見せてくれました。



## 情報クリップ

今年「絵本の日アワード・エピソード部門 授賞式」の模様を11月21日(土)よりYoutubeにて動画配信します。医院スタッフも出演します。動画は「絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ」HPからもご覧いただけます。

医療法人 元気が湧く  
こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00～18:15  
●昼休み 平日12:30～14:00  
土日13:00～14:30  
●休診 火曜・祝日(土日診療)



H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局  
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務  
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F  
(市営 大橋駐車場をご利用ください)

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

